



視察研修

日本原子力開発機構
人形峠環境技術センター

特集号

10月25日(水) 晴
日本原子力研究開発機構
人形峠環境技術センター
うたたねの里「いっぶく亭」(昼食)
岩井の滝(裏見の滝)
総勢30名で行って来ました



人形峠環境技術センターにおける原子力の技術開発の歴史を振り返ると、1955年(昭和30年)11月12日に、日本で初めてウラン鉱床の露頭が発見されたことにさかのぼります。

以来、核燃料サイクルの前工程であるウラン鉱石の採掘や処理に関わる資源技術やウラン濃縮技術の開発を2001年(平成13年)まで実施してきました。

その成果は、青森県六ヶ所村にある日本原燃(株)のウラン濃縮工場に引き継ぐなど、日本の核燃料サイクルを確立する上で、また戦後70年の日本国内のエネルギーを自国で確保し好景気を支えたことなど、多くの貢献を果たしています。

現在、これらの技術開発を終えた以降は、鉱山の跡措置、施設の解体、機器等の内部に付着しているウランの回収・除染、処分・再利用など廃止措置に必要な技術の開発を進めています。



放射線のいろいろな利用



私たちの生活と放射線の関わり

私たちの日常生活・身のまわりにも、放射線はあります。「自然放射線(約2.4ミリシーベルト)」です。例えば、

- 宇宙から降り注いでくる放射線を体に受ける。(0.39ミリシーベルト)
- 空気中に含まれているラドンなどの放射性物質を吸い込んで放射線を体内から受ける。(1.26ミリシーベルト)
- 大地から出てくる放射線を体に受ける。(0.48ミリシーベルト)
- 食べた植物に含まれている放射線を体内から受ける。(0.29ミリシーベルト)

また、医療で受ける放射線(レントゲンやCT撮影など)もあります。

そしてよく耳にするのが“被ばく”です。体内に入った放射性物質は新陳代謝により体外に排出されます。放射線が体の中を通ると人体の細胞内のDNAが傷つきます。でも、人の体には、傷ついた細胞を治す修復力、回復力があります。ケガや火傷をした時と同じです。

しかし放射線防護の基本は、合理的に可能な限り被ばくを避けることです。ケガや火傷もしないに越したことはありませんよね・・

でも、不幸にも大ケガや大火傷をした時は、治療が必要です。一度に大量に放射線を浴びた時には命に関わります! 早急に治療が必要となります。

放射線を必要以上に怖がらなくて良い!と感じました。



まちづくり関係行事のお知らせ

ゆびとまフェスティバル

12月2日(土)~3日(日)

笠岡市市民活動支援センター

まちづくりフォーラム・活動発表・展示など

第1回ふるさと思民大学(全2回)

女性や若者が参加するまちづくり

12月9日(土)10:00~12:00

保険センター ギャラクシーホール

講師:PiNECoNeS 代表 藤井ちえさん

感想

研修あり観光あり美味しい食事あり楽しい交流（ビンゴゲーム）ありの有意義な一日を過ごせました。

人形峠では、放射線がどういうものか核燃料と日常生活の関係などよく分かりました。

現在は、核燃料施設廃止措置について研究されているとの事。やはり放射線廃棄物の処理が気になりました。福島の廃炉処理にも長年かかりそうです。これからの将来を生きてゆく子ども達に重い宿題は残したくない！と思いました。原子炉より安全な太陽光や風力、地熱、水力発電などに替えていくのはどうなのか？！

人形峠を後にして、昼食は茅葺の田舎家で地域のおばちゃん達手作りの山菜料理や団子汁に満足。串にささった大きなアマゴの塩焼きも絶品でした。

午後から「裏見の滝」に行きました。雨の後で水量も多く森林と滝の中でマイナスイオンを一杯吸って、心もリフレッシュできました。



放射能、放射線、除染、〇〇シーベルトなどの言葉がテレビから流れてくると「怖い」というイメージがありました。人形峠の原子力開発機構の白水さんのお話を聞くと、空気中にも放射線が、食物にも体内にも放射性物質が・私達の日常生活の中にも普通にある事に驚きました。

また、最後に「心の除染」が心に残りまし

た。原子力発電所事故で放射線を受けた人が放射線を出すから避難者がホテルで宿泊を拒否された、福島の花火の打ち上げは中止、就職試験で「福島県民」ということで面接試験が受けられなかった、修学旅行先で「福島県立〇〇高等学校」と名乗れない等、しばらくの間「福島県」を消して生きなければならぬ時代が悲しい・・・と。

誤解からの風評被害・偏見・差別について正しく理解したい機会をありがとうございます。

視察団 新山へ来たる!

「まちづくり」の視察団が来られます。9月には観光ツアー、10月は総社市から。また11月には備前市から。



▲総社市から視察に。「まちづくり協議会」として新山地区自治会を立ち上げて7年。地方創生を願い目の前の出来る事を積み上げ続けるだけです。

千歳楽にご協力ありがとうございました

秋まつりの「千歳楽」では区内皆様の多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

お陰様で、事故もなく盛大に終わることができました。

ご祝儀の一部を神庫の建設費用として寄附させていただきました。

<新山千歳楽保存会>



火の用心
ことばを形に習慣に
11月9日～11月15日

秋の全国火災予防運動がはじまります

- ◎ 奥山池堤防工事
 - ◎ 協同油脂（株）造成工事
 - ◎ 岩野池メガソーラーの設置工事
- いずれも大型トラックの出入りがあります。警備員の指示に従い、十分注意して下さい。
- ◎ 長迫川沿いの歩道（本年度は、ファミリーマートから南へ50メートル）の舗装工事が始まります。



山口八幡神社より・・・お知らせ・・・

七五三祭りの祭典 について

日本では古来より、3歳・5歳・7歳を節目とし、子どもが今日まで無事育った事をお祝いし更に、今後とも健やかな成長を祈る行事が行われてまいりました。また、この歳までは神の子とされ、これからは初めて社会の一員として認められたことから、神社や氏神にお詣りをする風習が定着いたしました。

山口八幡神社では、
11月11日（土曜日）午前10時より

当神社拜殿に於いて、関係参詣者共々、今後益々のご成長を祈願する祭典を催します。

関係各氏 大勢のご参拝をお待ちいたしております。



井笠鉄道記念館で
ほっかほか石焼き芋 販売中!

インフルエンザの季節到来。手洗い・うがい
で予防しましょう!



新山食堂へ
新米や野菜、あわせ柿
バナナ、お菓子の
ご寄附がありました。
ありがとうございます!